

令和3年度

1学期始業式

新たな季節とともに、2年生は3年生へ、1年生は2年生へ進級しました。
最上級学年、中堅学年として、新しい一歩を踏み出しました。



池永先生の話の中で手を挙げてくださいという話があったと思います。肩より高く手を挙げた人、胸の高さくらいまで手を挙げた人、いたと思います。ぜひ今年度は全員、肩より高く手を挙げられるようになってください。

いずれ皆さんが進学や就職試験などで意思表示をしなければならない上で大切なことです。この令和3年度皆さんに実践してほしいこととは、授業、学校行事、部活動、色々な場面で、一生懸命コミュニケーションをとる努力をしてください。自分の気持ちを相手に伝える発信力、しっかり相手の話を聞く受信力が求められています。企業だけでなく上級学校でも求められている力です。自分で課題を見つけ、周りとは協力して課題を解決していくために、コミュニケーション能力は大切です。

また進路決定の時期が近づいてきたときに、急に真面目な人間を装うようなずるい人にはなりません。常日頃から素直に一生懸命に取り組む人になってください。先生たちはそんな姿の君たちをしっかりと応援して力になっていきたいと思っています。新2年生は新3年生の姿を見て、一生懸命頑張ってください。



この春、桜の花を見た人、手を挙げてください。

その手を人差し指一本にしてください。大きく「桜」と漢字で書いてみましょう。この中で生まれたときから漢字で「桜」と書いていた人、いますか。まずはあのピンクの花が「さくら」という名前だということから始まり、ひらがなで書けるよう

になり、その後漢字を習得したんだと思います。

学校とはそういう場です。学校とはわからないことがわかるようになり、できないことができるようになる場です。

そのためには今、自分がどこまでできてどこまでわかっているか、どこからが難しいのかわかる必要があります。今後は、その「評価」を自分自身でしていくような活動もあると思います。

「あーまた、学校だなあ、6時間いやだなあ」と思うも一日。

「今日はどんなことを知るんだろう、わかるようになるんだろう」と思って授業をうけるも同じ一日。

さて皆さんの人生において、どちらが有意義でしょうか。新年度、少し考えてみて進んでいただきたいと考えています。

まず皆さんに生徒会長から伝えたいことがあるそうです。

「今日から新学期になって学年が一つ上がりました。新3年生は、最上級生としての自覚をもって筑豊高校を引っ張っていけるように、そして新2年生は、3年生を支えてこれから入学してくる1年生を引っ張ってみんなで力を合わせて頑張っていきましょう」

生徒会長からの短いメッセージの中で君たちに対し色々なこと伝えたかったんじゃないかなと思います。それをまず君たちが受け止められるようになってほしいと思います。今日の話の中で挑戦という言葉をいっぱい聞いたと思います。なので私は生徒会長の挑戦を応援したいと思いました。



君たちに一つだけ約束してほしいことがあります。校長先生をはじめ先生たちは君たちのことを信じています。その信じている気持ちを裏切らないでください。「一諾を重んじる」ことです。一度した約束はなにがなんでも守る。校則を守りましょう、相手の傷つけることはやめましょう。自分勝手な気持ちで約束を破らないでください。一諾を重んじれない人間にならないでください。これがみんなに伝えたいことです。

式 辞

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けました。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響は懸念されますが、感染対策を引き続き徹底するとともに、皆さんが大きく成長するため先生方と一丸となって教育活動にあたっていく予定です。

春休みも終わりいよいよ新年度がスタートします。新しく赴任された先生を迎えました。さらに明日の入学式では一七名の新一年生を迎え、合計三四八名の筑豊高校がスタートします。君たちも今一度初心に戻り、入学当時の少しの不安と大きな希望に満ちた新鮮な気持ちを出してください。さて、今日は新年度スタートの特別な日に当たります。今年一年間色々なことに取り組むとき、ぜひ皆さんに意識してもらいたいことをお話しします。

日本を代表する総合家電グループを築き、「経営の神様」と呼ばれた実業家・松下幸之助さんの言葉で「塩がからいということは誰でも知っている。砂糖の甘さも誰もが知っている。しかし塩も砂糖も舐めたことがなければそのからさや甘さの説明を、いくら聞いたところで実際の味がわかるものではない。勉強にせよ仕事にせよビジネスにせよ、それと同じことだろう。」と。松下幸之助さんは社員のアイディアにいつも関西弁で「やってみなはれ」と言っていたそうです。またサントリーグループの創業者・鳥井信治郎さんも「やってみなはれ。やらなわからしまへんで」という言葉を残しており、現在のサントリーの社風にもなっているといえます。つまり実際に行動し体験しなければ、百回イメージして十冊の本を読んだところで、成功率は0%ということとです。実際行動して体験することによって知識や技術を身に着けることができます。「経験」にながるのだと思います。一生懸命努力したのに成功しなかった経験。全力を出し切ったと自分自身が思える経験。失敗しても新たな目標を見つけそれにチャレンジした経験。そしてその経験から何かをつかんだとき、成功への道が開けるのだと思います。

努力して成功すれば自信となり、

努力して失敗すれば経験となる。

また、反対に努力しないで成功すれば天狗になり、

努力しないで失敗すればあきらめる。

君達には目標を決めて行動し色々なものに努力して挑戦していったってほしいと思います。

これこそが「実学の筑豊」の基盤であると思っております。三年生はそれぞれの進路実現に向けた最後の年です。様々な行事を着実に取り組みながら一日一日進路実現に向けて努力してください。二年生は高校生活の充実の年です。一年の時の経験を土台に勉強、行事、部活に、励んでください。特に学校行事では三年生を支え一年生を導き盛り立て、中堅学年として立派に成長していただく下さい。皆さん一人ひとりがこの一年間、充実した高校生活を送り、お互いを大切にし支え合い、「行動すること」「体験すること」を心に刻み筑豊高校一三年目の新たな飛躍の年の主人公になることを期待し、始業式の式辞といたします。

令和三年四月六日